

会報誌「ちーたー」

創刊準備 第3号 別紙



みなさまへの協力をお願い

■設立記念講演会のPR

なるべく多くの方に若年性認知症について正しく知ってもらい、一緒に考えるきっかけとしてもらうため、設立記念講演会参加のPRにご協力をお願いします。

同封した案内チラシの他、6月上旬には掲示用ポスター（A3版）も完成しますので、協力していただける場合は、裏面の様式に必要な数をご記入のうえFAXしてください。

■専門医にお聞きしたい内容の募集

若年認知症に関する理解を深め、適切な対応をしていくためには、正しい知識の習得が必須です。本会の活動では、認知症の専門医である高橋正彦先生（大倉山記念病院精神科・物忘れ外来部長）に関わっていただくことにより、医療的な情報の習得に関しての充実を図っていく考えですが、どうしても時間が限られていますので、みなさんにお聞きになりたい内容をあらかじめ把握しておきたいと思っております。お手数ですが、質問したい内容を裏面の様式に記入し送付するようにしてください。

場合によって、会報誌の中でお答えするなど工夫をしながら、受け止めていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

■取材内容に関する意見の募集

先日、生命保険の高度障害保険金のことについて自身の体験を交えた情報提供があり、大変参考になったということがありました。実は都のハンドブック等にも記述はあるのですが、なかなか読んだだけでは自分に当てはめて考えられませんか、実際に手続きをとるという段になるとさらにハードルは高くなってしまいがちです。

本会では、そうした活用すべき支援のしくみを少しでも身近に捉えることができるようにするため、詳細な情報や窓口に関する情報を収集して整理し、また体験談をお聞きするなどして、広報誌や交流会を通じて提供していきたいと考えています。

先ほど例に挙げた高度障害保険金のように、このことをもっと知ってほしい、また、深く知りたいという内容がありましたらFAXしてください。

会員の加入、賛助等の状況

■正会員、賛助、家族会員の加入状況、寄附等の報告

（2013年5月19日現在）

正会員 24名、賛助 14名、登録会員（家族等） 10名、 寄附 5名（合計 18万円）



FAX ▶ 03-3338-6932

ちいたび会事務局行

質問事項等確認、PR用チラシ、ポスター依頼票

■ お名前（必須）、連絡先

■ 専門医にお聞きしたい内容についてご記入ください。

■ 取材してほしい内容、またぜひ知ってもらいたい内容についてご記入ください。

■ PRへの協力について（対応可能なものがあれば、○をつけてください）

() チラシの配布、ポスターの貼付 ※後日、必要数をお届けします。

チラシ（添付のもの） 枚、 ポスターA3版（6月上旬完成） 枚

() チラシを置いてくれるところ、ポスターを貼ってくれるところを紹介する。

() 説明の機会を設定できる。

() その他



若年認知症交流会小さな旅人たちの会 **ちいたび会**

（問い合わせ）メール：honbu@chiitabi.jp FAX：03-3338-6932 担当：事務局 高橋